

# コンプライアンスの徹底

OKIグループは、法令遵守はもちろん、社会的良識に従って行動し、公正な企業活動を展開するため、コンプライアンスの強化に取り組んでいます。コンプライアンス責任者を委員長とするコンプライアンス委員会のもと、教育と全社的・統一的・体系的なリスクマネジメントを推進するとともに、通報・相談窓口を設置し、通報者の保護など内部通報に関わる規程を定めることで、不正行為の早期発見と是正を図っています。

## 「OKIグループ行動規範」を改訂

OKIは、2011年12月28日の取締役会において、グループのCSR/コンプライアンスの基盤である「OKIグループ行動規範」の改訂を決議しました。今回の改訂は、グローバルに法令などの強化が進む腐敗防止、および反社会的勢力との関係遮断について、OKIグループとしての姿勢をより明確に示すために実施したものです。

### ■ 主な改訂箇所

#### 第2章 公正な企業活動

- ③ わたしたちは、公務員、お客様およびその代理人など、いかなる第三者に対しても、現金またはその他の形での贈賄行為を行いません。また、いかなる第三者からの賄賂も受領しません。
- ④ わたしたちは、寄付行為や政治献金は、その必要性や妥当性を十分考慮した上で、関連法令および社内規則に則り適切に行います。
- ⑩ わたしたちは、市民社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力に対して毅然とした態度で臨み、一切の関係を遮断します。

## コンプライアンス教育の強化

OKIグループは、コンプライアンス関連施策の浸透のため、国内6拠点で「コンプライアンス管理者研修会」を実施しています。参加者は受講内容を自部門に展開し、その浸透状況はグループの全従業員を対象に実施するeラーニングにより確認しています。

また2011年10月には、業務上起



冊子「コンプライアンス事例集」

こりうるコンプライアンス関連の事象と取るべき行動をQ&A形式で説明した冊子「コンプライアンス事例集」を作成しました。コンプライアンス管理者全員に配付しているほか、各種研修時にも配付し、活用を促しています。

### ■ 2011年度コンプライアンス教育受講率(国内OKIグループ)

コンプライアンス管理者研修会	100%
eラーニング「職場のコンプライアンス」	98%

## コンプライアンスリスクに関する施策の充実

OKIはリスクマネジメント規程に基づくリスク管理を徹底し、リスク発生時の対応体制も整備しています。特に重大視するコンプライアンスリスク<sup>※</sup>については、各部門が担当業務に関連して発生しうるリスクをリスクマネジメント推進事務局に登録して予防策をグループ内に展開し、その実施状況を定期的に確認する管理サイクルを構築・運用しています。

2011年度は管理の効率化と施策の実効性向上を図るため、この管理サイクルを従来の半年から通年に変更しました。サイクルの長期化が形骸化を招かないよう、展開先とのコミュニケーションを強化し、モニタリングの実施方法についても工夫しています。また前年度に続き海外グループ企業におけるリスクマネジメント強化に取り組み、ほぼすべての拠点で基本的な推進体制を整備しました。

<sup>※</sup> コンプライアンスリスク：法令・規範や社内ルールなどの違反に伴うリスク。

## 緊急・災害時のリスク対応

OKIグループでは、国内外の拠点やグループ企業に「防災対策委員会」を設置し、緊急連絡網を整備しています。また、災害発生時にも「生命の安全確保」「二次災害の防止」「地域貢献・地域との共生」「事業の継続」が図れるよう取り組んでおり、このうち「事業の継続」については、2008年度にBCP(事業継続計画)策定ガイドラインを整備しています。

2011年度は、東日本大震災後の対応や計画停電・節電対応などにおける反省点を踏まえ、各事業におけるBCPの見直しを進めました。また10月に発生したタイの洪水で浸水被害を受けた現地拠点では、関連拠点の連携により復旧を果たすとともに、洪水対策の強化を実施しています(p15参照)。今後も地震などのリスクに的確に対応するため、グループとしての取り組みを継続していきます。